

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「大型連休のにぎわい」
- 4 特集「いいたての牛」
- 10 お知らせ「飯舘村職員募集」
- 11 生涯学習のページ「YOITOKOツアー」
- 12 飯舘百景「想い伝わる花景色」
- 14 学びの広場「いいたてっ子運動会」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 はなれていても／ふれ愛館だより
- 20 おしらせのページ
- 21 入札結果
- 22 いいたてDIARY／までの食卓
- 23 ふるさと資源／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／飯舘言葉の達人



今月の表紙
三坂家の牛の世話をする勲さんと美枝子さん(白石)。避難で預けた母牛が村に戻った時、美枝子さんは涙をこぼして喜びました。こっこ(仔牛)が増えていました。

お詫びと訂正

5月号P2の記事で、今夏着工予定の木質バイオマス発電所の「出力」「燃料」の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。正しくは以下の通りです。

名称	飯舘みらい発電所
出力	7,500kw
種類	木質燃料を使用する バイオマス発電所
燃料	地元間伐材・バーク(樹皮)・ 一般木材等 約9.5万t/年

大型連休の飯舘村に色とりどりのにぎわい

ゴールデンウィークの飯舘村で新たな交流が生まれていたよ

多彩なイベントで
にぎわいました

地域おこし協力隊の二瓶麻美さん(草野)が5月3日・4日に旧草野小学校と「やすらぎ工房」(旧草野幼稚園)で開いた『山の向こうから』。食器や雑貨、アクセサリやスイーツなど、目移りしてしまうこだわりの逸品が全国から集まり、来場者は作り手との出会いを楽しみながら、お気に入りを購入したり、ワークショップに参加したり、遠来のファンを含む約1200人が、思い思いにイベントの魅力味わっていました。

同日、松本奈々さん(深谷)、矢野淳さん(佐須)が共同代表を務める合同会社マープリングは、『図(ず)倉庫』(旧コメリ建物)でプレオープンイベントを開催。展示やワークショップを通して、同事業のわくわく感を伝えました。モニター利用を開始した『あいの沢オートキャンプ場』では様々な世代の方がキャンプを楽しみ、『ふかや風の子広場』や道の駅までい館は多くの家族連れでにぎわいました。



山の向こうから
5/3・4



1・2・4会場の様子。3村の花を使ったディスプレイがお出迎え。5観客が息を飲んで見つめた藤安将平刀匠による刀の焼き入れの実演。6出店者と言葉を交わす二瓶さん(左)。作家の一人ひとりとコツコツ関係を築いてこのイベントを育てています。7・8ナイトマーケットの明かり。しっとりした雰囲気も◎



今月の話題
vol.25



あいの沢
オートキャンプ場
モニター利用

4月下旬からモニター利用が始まった「村民の森あいの沢」のオートキャンプ場。家族や友人とのキャンプを楽しむ人、ソロキャンプで1人の時間を満喫する人など、様々なスタイルで多くの方にご利用いただいています。予約方法など利用情報は5月号P20で確認を。



交流と情報発信の拠点として、合同会社MARBLING(マープリング)が、内外の人々と協働して空間づくりを行っています。1地域おこし協力隊の松尾洋輝さん(大久保・外内)がトレーラーカフェでおいしいコーヒーを提供。2・3様々な世代の人が空間の雰囲気を楽しみ交流しました。

ずと
図倉庫
プレオープン
イベント
5/3・4

